

平成 24 年 1 月

全国青色申告会総連合青年部

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-9

TEL : 03-3294-2301 FAX : 03-3233-0154

<http://www.bluereturna.jp/seinenbu/>

TEN-UP NEWS

No.72

全青色青年部研究集会の開催

第一部：新ブルーリターンAの紹介

全青色青年部は11月28日、東京都千代田区の全国町村会館において、全青色青年部研究集会を開催した。今回の研究集会では、第一部に平成24年1月リニューアル予定の新ブルーリターンA(以下、新BRAという)の紹介をおこない、第二部に青年部員同士による税制改正運動についての意見交換をおこなった。



【メインメニュー】



※画面は開発中のものです。

ブルーリターンAは平成13年1月の発売から11年を過ぎ、多くの会員にご利用をいただいている。累計普及本数は75,000本超の実績をあげている。その一方で、多数の改善要望がよせられていた。全青色では、その改善要望に応えるため、40もの新機能を搭載した新BRAを開発した。

<動作保証環境に関する留意事項>

新BRAは、マイクロソフト社のWindows(OS)環境下で稼働します。マイクロソフト社では、OS環境の向上をはかるため、随時、サービスパック(SP)を提供しています。SPとは、製品別に提供されている修正プログラムをまとめたものです。新BRAでは、SPをはじめ、動作保証環境にいくつかの留意事項があります。

(1)Windows 7の場合

SPの制約はありません。ビット数は64ビットと32ビットの両方に対応します。パソコン内部の記憶装置となるメモリサイズは、ビット数によって異なり、64ビットでは2GB以上、32ビットでは1GB以上が必要となります。

(2)Windows Vistaの場合

SPのバージョンは「SP2」が必要です。こちらもビット数は64ビットと32ビットの両方に対応します。メモリサイズはビット数に関係なく1GB以上が必要となります。

(3)Windows XPの場合

SPのバージョンは「SP3」が必要です。また、ビット数は32ビットのみとなります。メモリサイズは512MB以上ですが、推奨環境として1GB以上となります。

この他、全OS共通の留意事項として、1.3GB

の空き容量(ハードディスク)が必要です。



<インストールの留意事項>

新 BRA では、インストールされるソフトが新 BRA 本体以外に三つあり、合計で四つのソフトをインストールします。

(1)Microsoft .NET Framework 4.0

新 BRA を動かすインフラ(基礎)となるソフトです。最初にインストールされ、15分ほど時間を要します。

(2)SAP Crystal Reports Runtime Engine for .NET Framework 4.0

各種帳票の作成、印刷をするためのソフトです。インストールに約5分かかります。

(3)SQL Server Compact 3.5 SP2

新 BRA のデータファイルを生成するソフト

です。約1分でインストールできます。

(4)新 BRA 本体

新 BRA 本体も約1分でインストールできます。新 BRA 本体については、同時に「データコンバートツール」もインストールされます。「データコンバートツール」は、現行の BRA のデータを新 BRA のデータに変換するソフトです。新 BRA 初回起動時には、自動でデータ変換がおこなわれます。

なお、これらのソフトは、それぞれ別のソフトとなるため、使用許諾の有無を確認する作業も四回おこなうこととなります。

また、翌年以降のバージョンアップに関するインストールについては、同じパソコンの場合、新 BRA のみとなるため、使用許諾を含めて3分程度で完了します。

新ブルーリターンAの主な改善点

1. メニュー画面

- シンプルな一画面構成
- ボタン表記・配置を作業内容にあわせて変更

2. 事業情報設定

- 業種設定を勘定科目の設定から移動

3. 勘定科目設定

- 不動産・農業兼業の補助科目コードを主科目コードに移行
- 補助科目の設定上限を999件まで拡大

4. 開始残高設定

- 開始日で科目分類と元入金を自動設定

【帳簿入力(※現金出納帳)】

The screenshot shows the '現金出納帳' (Cash Ledger) screen. The header includes the date range '2011/1/1~2011/12/31', '登録モード' (Registration Mode), '日付順' (Date Order), '月計を非表示' (Hide Monthly Totals), and '主科目モード' (Main Account Mode). The main table has columns for '年' (Year), '月' (Month), '日' (Day), '伝票番号' (Document No.), 'コード' (Code), '科目' (Account), '補助科目' (Sub-account), '税区分' (Tax Category), '摘要' (Description), '収入金額' (Income Amount), and '支出金額' (Expense Amount). A single entry is visible for 11/14 with a document number of 1, code 400, and account '売上' (Sales), with a description '本日の売上' (Today's sales) and an income amount of 300,000.

年	月	日	伝票番号	コード	科目	補助科目	税区分	摘要	収入金額	支出金額
11	11	14	1	400	売上			本日の売上	300,000	

5. 日常取引

- 登録済み取引が随時、閲覧可能
- 「登録」「修正」「削除」のモード切替方式を採用
- ファンクションキーの活用
- 勘定科目は随時、設定可能
- 帳簿入力に総勘定元帳入力を新設

6. 帳票出力

- 月別総括集計表に貸借対照表科目を新設
- 年次対比表に月次対比機能を追加

7. データのバックアップと復元

- 各種外部メディアへの対応を拡充

8. 減価償却資産の登録

- 期首残高入力チェック機能を新設
- 決算整理仕訳作成ボタンを新設

9. 青色申告決算書

- 青色申告特別控除 10 万円の場合でも貸借対照表の印刷が可能

- 画面表示の拡大・縮小機能を新設
- 入力チェック機能を強化

10. 確定申告書(所得税・消費税)

- 画面表示の拡大・縮小機能を新設
- 入力チェック機能を強化

【新ブルーリターンA解説VTR】

全青色では、新 BRA の操作方法などを紹介している「解説VTR」をブルーリターンAのホームページに掲載しています。ブルーリターンAをお持ちでない方もご覧いただけます。

【ブルーリターンAホームページ】



<アドレス <http://www.bluereturna.jp>>

B R A イ ー タ ッ ク ス

新 BRA では、イータックス(電子申告)も機能改善をおこなっています。

大きな変更点として、データセンターを廃止しました。電子申告データをローカル PC に保存する形となり、いつでもすぐに確認ができます。

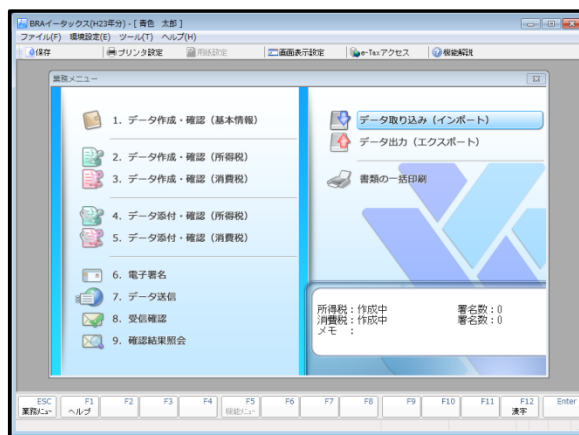
センターの廃止に伴い、センターへのログイン認証を実施する必要がなくなりました。

従来のイータックスでは、認証を行うためにライセンス証書の発行を受ける必要があり、イータックスに取り掛かるまでに時間を要しました。また、ライセンス証書にはログイン ID やパスワード、利用者識別番号など、様々な管理番号が記載され、「どの作業のときに、どの番号を使うのか」が分かりづらいという問題がありました。認証作業の省略により、

送信にかける時間をさらに短縮できるようになりました。

ブルーリターンAをお使いの方は、作成した青色申告決算書・確定申告書をそのまま簡単に送信できるBRAイータックスのご利用をお勧めします。

【BRAイータックス】



第二部：税制改正運動に関する意見交換

今回の青年部研究集会では、『個人企業における事業承継税制の創設』と『事業主報酬制度の早期実現』の二つのテーマについて、青年部員同士による意見交換をおこなった。



個人企業における 事業承継税制の創設

事業承継税制について、全青色青年部研究集会第二部に参加した青年部員より、以下の意見があった。

- ・政権交代後、税制などの様々な要望について、どこでおこなえば良いのか分からなくなった。
- ・青色申告会として地元の議員に要望陳情をしていけば、力になってくれると思う。
- ・議員の方が要望の機会を設けてくれても、事業承継税制に関して理解が進んでいない青年部員が多い。
- ・青年部として事業承継税制について、もっと理解を深めるような活動をしていかなければならない。
- ・日本の経済が厳しい中で減税を求める姿勢は理解できるが、税制は全体を見ながら決めていかなければならないものであり、減税だけを求めていくのは難しいのではないだろうか。
- ・事業承継税制は、日本国内の不公平税制という問題だけではない。欧米などの諸外国は、事業分の相続に関して控除が大きいとか、一定の要件のもと非課税である。

- ・事業用資産と家事用資産を明確に分けた場合のメリットをもっと知る必要がある。



事業主報酬制度の 早期実現

事業主報酬制度の早期実現については、以下の意見があった。

- ・株式会社などの法人との公平性の観点から個人事業主の報酬も経費として認められるべきである。
- ・要望だけでは難しいので、ギブ・アンド・テイクも必要ではないか。
- ・以前は、一時的に「みなし法人課税」として事業主報酬の支払いが認められ、給与所得控除が可能であった。また、「みなし法人課税」を選択しない青色申告者にも青色申告控除との選択が可能であった。仮に事業主報酬制度が実現した場合、またこのような選択が可能であるようにしたい。

Key Word

LCC(格安航空会社) ———

LCC(Low Cost Carrier : 格安航空会社)は、人件費や運航コストなどを徹底的にカットし、また機内サービスの有料化によって、格安の航空券を提供する航空会社である。従来の大手航空会社と大きく異なる点は、機内サービスの有料化のほか、座席の自由席化、座席クラスをエコノミークラスに統一、預かり荷物の無償枠の引き下げ、乗客によるインターネット予約などの直接予約が基本、マイレージサービス非導入、購入の時期に関わらず100%のキャンセル料の発生などがある。

海外のLCCは経営状況も良く、日本では日本航空と全日本空輸が出資するLCC3社が今春就航予定である。「LCC元年」とも言われ、景気浮揚の起爆剤になるか注目されている。

大阪都構想 ———

2011年11月27日に実施された大阪府知事選挙および大阪市長選挙のW選挙で、「大阪都構想」を推進していた「大阪維新の会」からの立候補者が共に当選した。大阪都構想は、大阪府と大阪市・堺市(および周辺自治体)を廃止し、大阪都を新たに設置して府と市の無駄な二重行政を見直す構想である。大阪都構想の第一の目標は、大阪全体のGDPを上げ、住民所得の増加およびそれに伴う税収の増加である。個々の住民サービスの向上は、新たに設置する区が行っていく。区長も役人区長ではなく選挙によって選ばれる公選区長とし、区民自らが区長・区議会、すなわちサービスを選択・決定できるようにするものである。

ソーシャルゲーム ———

SNS(Social Networking Service : ソーシャル・ネットワーキング・サービス)上で提供されているオンラインゲームの総称をいう。SNSとは、ネット上で知り合った人とコミュニケーションを取りながら、様々な情報の交換などを目的として行われているサービスである。

ソーシャルゲームはSNSの特徴を生かして、ネット上の友人達との協力や他のプレイヤーと競争して進めていくゲームが多く、大半は無料で遊ぶことができる。また、ゲームを有利に進められるアイテムなどの購入に「課金システム」を採用し、既存のゲームに比べ、高い収益率を生み出している。しかしながら、子供が課金システムを理解せずに遊び、後で高額請求をされるなど問題が急増している。

復興増税(復興財源法) —

政府は東日本大震災の復興費用として当初5年間で19兆円と推定し、第1、2次補正予算で6兆円を計上した。1次補正で年金財源に2.5兆円を流用したため、残額の13兆円と合わせて15.5兆円の財源が必要となった。

そこで昨年11月に臨時増税を盛り込んだ「復興財源法」が成立した。復興財源法は、長期に渡り所得税や住民税、法人税の税額の上乗せを行うもので、総額10.5兆円の増税となる。しかしながら、一部では被害総額は6兆円程度という試算がある。政府が示している復興の費用も財源の確保も疑義が生じる中、東日本の復興と日本経済への影響が懸念されている。